

平成 2 4 年度 第 3 学年 音楽 科 シラバス

月	章・単元	学 習 内 容	時間	達 成 目 標	主な評価方法	観点 ①	観点 ②	観点 ③	観点 ④	観点
4	日本の歌 の美しさ	「花」 「上をむいて歩こう」	4	・歌詞の内容や曲想を感じて曲 にふさわしい表現を工夫する。 ・作曲者、作詞者について学習 する。 ・音符の書き方について理解す る。 ・歌詞の意味を理解する	観察 音楽理論につい ての学習プリン ト 定期テスト	○	○	○		
5	歌のテスト	「花」歌のテスト	1	姿勢を正して、音程に気をつけ 、美しい声で歌う。	ワークの学習 実技テスト	○		○		
	イタリア の心を表 す歌の味 わい	イタリアカンツォーネ 「帰れソレントへ」	2	イタリアカンツォーネの世界 にふさわしい歌い方を研究する 。三大テノールの歌い方を参考 に、イタリアの歌の雰囲気を味 わい、速度や強弱の変化によっ て音楽が劇的に変化することを 学習する。 また転調について 知る。	感想ノート 行動観察 定期テスト	○	○			
6	舞台芸術 と音楽	歌劇「アイダ」	4	・物語の場面に応じて、どのよ うな歌い方をしているか感じ取 る。 ・アイダの物語を理解し、情 景を想像しながら聴く。 ・ベルディについて理解する。	感想ノート 定期テスト	○			○	
7	音楽の歴史	「古代、中世の音楽」	2	古代、中世の音楽がどのように 成立したか理解する。またグレ ゴリオ聖歌を聴き、世俗音楽と の違いを感じ取る。音楽をその 背景となる文化、歴史と関連づ けて理解できるようにする。	感想ノート 定期テスト	○			○	
9	合唱の喜 び	各学級で決まった文化 祭での歌への取り組み、 学年合唱曲練習	6	決定された曲へのイメージを 高め、自分の力で練習を運営す る力を育てる。	自己評価用紙 観察 定期テスト	○	○	○		
10										
11	舞台芸術 と音楽	歌舞伎「勧進帳」	3	・総合芸術としての歌舞伎のお もしろさを楽しむ。また物語の 流れを理解する。 ・長唄の歌い方を知る	感想ノート 定期テスト 学習プリント	○	○		○	
	歌のテスト	学年合唱曲	1	音程を正確にとり、大きな声で 姿勢にきをつけて、豊かに表現 できる	実技テスト ワーク	○		○		
12	音楽の歴史	中世吟遊詩人の音楽	1	フランス、ドイツで中心となっ た吟遊詩人について、その音楽 の特徴を理解し、グレゴリオ聖 歌との雰囲気の違いを感じ取る	感想ノート 定期テスト	○			○	
	心の歌	「早春賦」 「花の街」	1	日本の歌の歌詞の内容や曲想を 味わい、表現を工夫する。	行動観察 定期テスト	○	○			
	音楽の歴史	ルネサンスの音楽	2	ルネサンスの音楽の代表である パレストリーナ、モンテベルデ イについて触れる	感想ノート 定期テスト	○			○	
1	ギターに 親しもう	・音階 ・「カントリーロード」	2	ギターで音階を演奏できるよう にする。 簡単なコードネームに触れる	行動観察	○		○		
	和楽器に 触れよう	三味線を弾いてみよう	2	・簡単な曲が演奏できるように する	行動観察	○		○		
2	合唱の喜 び	卒業式の歌の取り組み	2	卒業にむけて合唱練習に意欲的 に取り組めるようにする	行動観察	○	○	○		
	日本の楽 器に触れ よう	和楽器を演奏してみよ う	2	「たいこで祭り」に挑戦しよう	行動観察	○		○		
合計時数			3 5							

第3学年音楽科の評価規準

音楽への関心・意欲・態度

- 様々な活動に意欲的に取り組んでいる。
- 日本の音楽について、興味を持ち三味線の響きに親しんでいる。
- 音楽の歴史に対して興味をもって集中して鑑賞している。
- オペラに興味を持ち、熱心に鑑賞している。
- イタリア語の歌唱に意欲的に取り組んでいる。
- 文化祭の合唱練習に積極的に関わっている。

音楽表現の創意工夫

- 日本の歌や世界の歌の歌詞の内容や曲想を感じて、曲にふさわしい表現を工夫している。
- オペラ「アイーダ」で物語の場面に応じて、どのような歌い方をしているかを感じ取ることができる。
- 「帰れソレントへ」で三大テノールの歌い方を参考に、カンツォーネにふさわしい歌い方を工夫することができる。
- 強弱や歌い方を工夫して表現している。
- 日本の音楽について、日本的な美しい音に触れ、それにあった表現をしようとしている。

音楽表現の技能

- 姿勢、正確なリズム、音程、強弱に気をつけ、美しい声で歌える。
- 英語、イタリア語の発音に気をつけ、歌唱することができる。
- ギターで音階を演奏し、簡単なコードネームを演奏できる。
- 楽器のひきかたが理解できる。
- 日本の歌の美しさを意識して表現できる。
- 合唱において自分のパートの音が正確にとれる。

鑑賞の能力

- 「アイーダ」の物語を知り、独唱、合唱、重唱などの様々な演奏形態を理解し、情景を想像しながら聴くことができる。
- 中世のグレゴリオ聖歌、世俗音楽の特徴の違いを感じ取って聴くことができる。
- ルネサンスの音楽について中世の音楽との特徴の違いを聴き取っている。
- 「勸進帳」の物語や特徴を理解して鑑賞することができる。